



令和8年2月1日 こぼうしこども園

会津の冬はやはりここからが本番、寒さも一層増しているように感じます。この厳しい寒さを体験するからこそ、春の暖かさが嬉しく、待ち遠しさもひとしおなのかもしれません。

子ども達はこの寒さをもろともせず、園庭で雪遊びを楽しんでいます。汗の始末や雪で濡れた衣服の着替えなどをしっかり行い、風邪など引かないよう注意しながら楽しんでいきたいと思います。



ノロウィルスが流行しています。

らくらくメールなどでお知らせしていますが、現在ノロウィルス感染症が流行しています。予防や対策を行っていますが、感染力が非常に強いことが特徴で、わずかなウイルス量（10～100 個程度）でも感染が成立します。飛沫・接触・経口感染と感染経路が多いの流行の原因でもあるようです。ノロウィルスの型が変わると何度も感染するので注意が必要です。

☆ノロウィルスによる胃腸炎はどのようなものですか？

ノロウィルスによる感染性胃腸炎や食中毒は、一年を通して発生していますが、特に冬季に流行します。

ノロウィルスは手指や食品などを介して、経口で感染し、ヒトの腸管で増殖し、おう吐、下痢、腹痛などを起こします。健康な方は軽症で回復しますが、子どもやお年寄りなどでは重症化したり、吐ぶつを誤って気道に詰まらせて死亡することがあります。

☆ノロウィルスはどうやって感染するのですか？

このウイルスの感染経路はほとんどが経口感染で、次のような感染様式があると考えられています。

(1)患者のノロウィルスが大量に含まれるふん便や吐ぶつから人の手などを介して二次感染した場合

(2)家庭や共同生活施設などヒト同士の接触する機会が多いところでヒトからヒトへ飛沫感染等直接感染する場合

※その他、二枚貝を十分に加熱せずに食べた際にも感染します。

節分に豆をまかなくなつたわけ！！

2月3日は節分です。園でも鬼を退治する豆まきを行います。ですが園では豆を使用せず、丸めた新聞紙や花ちりがみを使用します。それは誤嚥を防ぐためです。落花生などのナッツ類は、子どもがのどや気管に詰まらせると窒息の可能性があり、かみ碎いたかけらが気道に入ると肺炎や気管支炎を引き起こしたりするからです。

また、園には鬼は登場しません。それは節分というのは子どもを怖がらせるための行事ではないからです。万が一、豆を食べてしまいそんな場面に鬼が登場したら…鬼が怖くないてしまい、豆を上手く飲み込めずつまってしまい窒息などの重大な事故になりかねません。詰め込むのも、詰まるのも一瞬、そんな危険な行事にならないよう園では怖がらせる行事ではなく、心にいる悪い鬼や風邪など病気にする悪い鬼を退治する行事となっています。

お家でも豆まきを行うと思いますが、誤嚥・窒息には十分注意しながら行いましょう。

☆ノロウィルスに感染するとどんな症状になるのですか？

潜伏期間（感染から発症までの時間）は 24～48 時間で、主な症状は吐き気、嘔吐、下痢、腹痛であり、発熱は軽度です。通常、これらの症状が 1～2 日続いた後、治癒し、後遺症もありません。また、感染しても発症しない場合や軽い風邪のような症状の場合もあります。

☆発症した場合の治療法はありますか？

現在、このウイルスに効果のある抗ウイルス剤はありません。このため、通常、対症療法が行われます。特に、体力の弱い乳幼児、高齢者は、脱水症状を起こしたり、体力を消耗したりしないように、水分と栄養の補給を充分に行いましょう。脱水症状がひどい場合には病院で輸液を行うなどの治療が必要になります。

厚生労働省HPより

ウイルスが手につき、そのウイルスが付着した手で何かを食べた際に感染するが多いようです。園でも食事前はもちろん、トイレ後の手洗いもしっかりと泡のハンドソープを使用することを子どもたちに伝えています。お家でも帰宅した際の手洗いを忘れずにお願いいたします。

ノロウィルス感染症は感染力が強いことや乳幼児が感染すると重症化することから、発熱はなくてもお迎えをお願いする場合があります。集団生活の場ということをご理解いただき、すみやかなお迎えのご協力をお願いします。